主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１２０回（令和２年２月）情報処理技能検定試験（表計算）初段問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
４．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

商ＣＯ	定価	在庫数
101	540	1,257
102	790	976
103	230	723
201	610	1,612
202	820	829
203	350	651
301	850	1,725
302	930	978
303	760	637

※＜出力形式１＞で使用。

商ＣＯ	得ＣＯ	売上数
101	12B	875
101	13C	382
102	12B	398
102	13C	432
103	11A	216
103	13C	399
201	12B	778
201	13C	736
202	11A	238
202	12B	539
203	11A	394
203	12B	217
301	11A	795
301	13C	621
302	11A	500
302	13C	196
303	11A	107
303	12B	431

※＜出力形式２＞で使用。

＜分類表＞

商ＣＯ	分類名
100 番台	ポケット
200 番台	リング
300 番台	パイプ

＜サイズテーブル＞

型番	サイズ
1	Ａ４タテ
2	Ａ４ヨコ
3	Ｂ５タテ

＜値引率表＞

在庫数	商ＣＯ		
	100 番台	200 番台	300 番台
1 以上　1,000 未満	2%	3%	4%
1,000 以上	5%	6%	7%

＜得意先テーブル＞

得ＣＯ	得意先名
11A	中村総業
12B	下田企画
13C	ニシカワ

＜割引額の計算式＞

得ＣＯの右から１文字目	割引額
C	売上額×3.6%
それ以外	売上額×4.3%

※割引額は整数未満切り上げ。

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような商品一覧表を作成しなさい。
２．商品名は、分類名・サイズの順に関数または演算子を使用して結合しなさい。（例　ポケットＡ４タテ）
　　※分類名は＜分類表＞、サイズは＜サイズテーブル＞を参照する。　※型番は商ＣＯの1の位とする。
３．売価＝定価×(1－値引率)（10 位未満切り捨て）　※値引率は＜値引率表＞を参照する。
４．＜出力形式２＞のような売上額一覧表を作成しなさい。（―― の部分は空白とする）
５．商品名、得意先名はそれぞれ商品一覧表、＜得意先テーブル＞を表検索しなさい。
６．売上額＝売価×売上数　※売価は商品一覧表を参照する。
７．割引額は＜割引額の計算式＞を参照し、求めなさい。
　　請求額＝売上額－割引額
８．合計を求めなさい。
９．＜出力形式２＞と同じ形式で、Ａ４タテまたは売上数が 500 以上を抽出しなさい。
　　表題は“売上額一覧表（Ａ４タテまたは売上数 500 以上）”とし、割引額の降順に並べ替えなさい。
10．売上額一覧表を基に＜出力形式３＞のような得意先別計算表を作成しなさい。
11．売上数・割引額・請求額は、基の表を集計する。
12．構成比率＝請求額÷請求額の合計（%の小数第１位未満四捨五入の表示）
13．割引額の降順に並べ替えなさい。
14．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
15．＜出力形式３＞の得意先名別の売上数を折れ線、割引額を縦棒にした複合グラフにしなさい。
　　タイトルは“得意先別の比較”とし、凡例は“売上数”、“割引額”とする。

＜出力形式１＞

商　品　一　覧　表

商ＣＯ	商品名	定価	在庫数	売価
（　途　中　省　略　）				

＜出力形式２＞

売　上　額　一　覧　表

商ＣＯ	商品名	得ＣＯ	得意先名	売上数	売上額	割引額	請求額
（　途　中　省　略　）							
――	合　計	――	――				

＜出力形式３＞

得意先別計算表

得意先名	売上数	割引額	請求額	構成比率
（　途　中　省　略　）				